

ロボット関連技術PRカード

1. 企業概要

会社名	株式会社 インテリジェントセンサーテクノロジー			代表者名	池崎 秀和		
				窓口担当	内藤 悦伸		
事業内容	味覚センサーの開発・製造・販売、ソリューション・サポート提供サービス			U R L	http://www.insent.co.jp/		
主要製品	味認識装置						
所在地	〒243-0032 神奈川県厚木市恩名 5-1-1						
電話／FAX 番号	046-296-6609／046-225-7933			E-mail	Ikezaki.Hidekazu@insent.co.jp		
資本金(百万円)	95	設立年月	2002 年 1 月	売上(百万円)	320	従業員数	33

2. PR事項

『世界で初めて「味を測る」装置を開発、食品・飲料等開発のエース登場！』

● 味覚認識装置 TS-5000Z



● 食品の評価の現状

- ・官能検査: 人と意見が違う。主観的。
- ・化学分析: 味物質の種類は莫大で、相互作用あり、味の分析は難しい。

● 開発の歴史

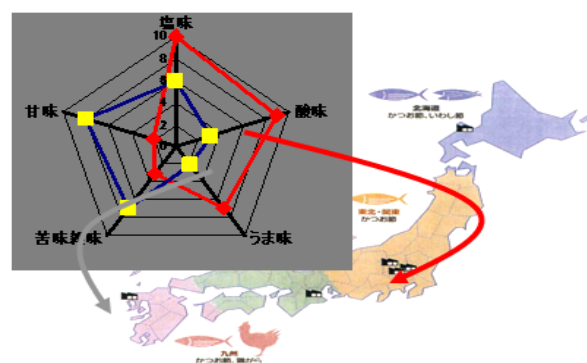
人の舌の味覚受容メカニズムを模倣して味を測定する技術を開発した九州大学の都甲教授らと20年にわたる共同研究を行った。センサー-膜の最適設計を行い、苦味センサー、旨味センサー、渋味センサー、酸味センサーおよび塩味センサーを開発し、味のものさしを創った。これまでに公的研究機関や有力食品メーカー・飲料メーカーなど約200社に導入されている。

● 特徴

- ・人の舌を模倣して、人の感覚を再現。
- ・相互作用(砂糖で苦味抑制)も検知。
- ・苦味、渋味、旨味、酸味および塩味を定量。
- ・後味測定により、コク、キレも定量。
- ・識別分解能は、人の10倍以上。

● 応用例: 食品の官能検査の強力なツール

- ・マーケティング: トレンド、地域差、他社の動向が見える。



- ・新製品開発: 目標が見える。どうすればよいか見える。達成度が見える。
- ・営業: 自社の良さや改善点を見せられる。
- ・品質保証: 安心安全を見せられる。



3. 特記事項 (得意技術以外に PR したい事項 例: 特許情報、応用分野、表彰・認定)

- ・2009 年 経済産業省 元気なモノ作り中小企業 300 社に選定。ものづくり日本大賞で特別賞授賞。
 (独) 科学技術振興機構 井上春成賞を九州大学都甲潔教授と同時授賞。
- ・味覚センサー技術のノウハウを活かし農業・食品関連ロボット関連事業の開発に貢献します。